｜メニューへ戻る｜

１次関数の式の判別

●★解法の技術★の学習のしかた●

(1)　下の答案を理解し，「考え方」を覚えましょう。／覚えたら，.....
(2)　模範解答を見ないで，「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。
（答案を見ながら書くと勉強になりません。一度，「考え方」を頭の中に入れることが大切です。）

★解法の技術★

χ，ｙの関係が，次のような式で表されているとき，ｙがχの１次関数であるといえるものを，次の(1)～(6)から選びなさい。

(1)　$y+\chi=6$　　(2)　$3\chi+2y=6$　　(3)　$\dfrac{y}{\chi}=-2$

(4)　$\chi y=6$　　(5)　$\chi=2y-1$　　(6)　$\dfrac{\chi}{2}+\dfrac{y}{3}=1$

【考え方】ある式が１次関数かどうかは，その式をｙ＝～の形に変形してから判断します。$y=a\chi+b$（あるいは$y=a\chi$，ａとｂは定数）となれば，その式は１次関数の式であるといえます。

［考える手順］　［答　案］

(1)　$y+\chi=6$

1　ｙ＝～の形に変形　$y=-\chi+6$　…○　◀χを移項

(2)　$3\chi+2y=6$

1　ｙ＝～の形に変形　$2y=-3\chi+6$　◀3χを移項

$y=-\dfrac{3}{2}\chi+3$　…○　◀両辺を2でわる

(3)　$\dfrac{y}{\chi}=-2$

1　ｙ＝～の形に変形　$y=-2\chi$　…○　◀両辺にχをかける

(4)　$\chi y=6$

1　ｙ＝～の形に変形　$y=\dfrac{6}{\chi}$　…×　◀両辺をχでわる

（次のページへつづく）↗

｜メニューへ戻る｜

□ □ 【１次関数　No.５（１／３）】－〈２枚目／２枚〉

↗（前のページからのつづき）

	(5) $\chi = 2y - 1$
1 y＝～の形に変形	$2y - 1 = \chi$　◀両辺を入れかえる
	$2y = \chi + 1$　◀－1を移項
	$y = \frac{1}{2}\chi + \frac{1}{2}$ …○　◀両辺を2でわる
	(6) $\frac{\chi}{2} + \frac{y}{3} = 1$
1 y＝～の形に変形	$3\chi + 2y = 6$　◀両辺に6をかける
	$2y = -3\chi + 6$　◀3χを移項
	$y = -\frac{3}{2}\chi + 3$ …○　◀両辺を2でわる

答　１次関数は (1)，(2)，(3)，(5)，(6)

【注意】(5) 両辺を入れかえても符号は変わりません。（移項ではない）

(2)，(5)，(6)…「両辺を２でわる」ときの具体的な手順は，

「すべての項を２でわる」ことです。

(6) …「両辺に６をかける」ときの具体的な手順は，

「すべての項に６をかける」ことです。

5

１次関数　１・１次関数とグラフ

3　１次関数の式の形（その１）

（２／３）■　１次関数の式の判別　■

◇《１次関数の式の判別》**学力化**➡　　／　，

★理解のチェック★

χ，y の関係が，次のような式で表されているとき，y が χ の１次関数であるといえるものを，次の(1)～(6)から選びなさい。

(1)　$y+\chi=6$　　(2)　$3\chi+2y=6$　　(3)　$\dfrac{y}{\chi}=-2$

(4)　$\chi y=6$　　(5)　$\chi=2y-1$　　(6)　$\dfrac{\chi}{2}+\dfrac{y}{3}=1$

【考え方】ある式が１次関数かどうかは，その式を $y=$～の形に変形してから判断します。$y=a\chi+b$（あるいは $y=a\chi$，aと b は定数）となれば，その式は１次関数の式であるといえます。

［考える手順］

［答　　案］

(1)　$y+\chi=6$

1　$y=$～の形に変形　　◀χ を移項

(2)　$3\chi+2y=6$

1　$y=$～の形に変形　　◀3χ を移項

◀両辺を2でわる

(3)　$\dfrac{y}{\chi}=-2$

1　$y=$～の形に変形　　◀両辺に χ をかける

(4)　$\chi y=6$

1　$y=$～の形に変形　　◀両辺を χ でわる

（次のページへつづく）↗

｜メニューへ戻る｜

□ □　【１次関数　No.５（２／３）】　－〈２枚目／２枚〉

↗（前のページからのつづき）

(5)　$\chi = 2y - 1$

1　y＝～の形に変形

◀両辺を入れかえる

◀－1を移項

◀両辺を2でわる

(6)　$\dfrac{\chi}{2} + \dfrac{y}{3} = 1$

1　y＝～の形に変形

◀両辺に6をかける

◀3χを移項

◀両辺を2でわる

答　１次関数は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5

１次関数　１・１次関数とグラフ
３ １次関数の式の形（その１）
（３／３）■　１次関数の式の判別　■

◇《１次関数の式の判別》**学力化**➡　　／　，

★演習★【１】

ｙがχの１次関数であるといえるものを，次の①～⑧から選びなさい。

① $\chi+y=2$　② $\chi^2+y=4$　③ $\chi y=2$　④ $y=\dfrac{1}{\chi}+3$

⑤ $\dfrac{y}{\chi}=-1$　⑥ $\dfrac{\chi}{3}=y-5$　⑦ $2\chi-3y=0$　⑧ $\dfrac{\chi}{3}-\dfrac{y}{4}=2$

【考え方】ある式が１次関数かどうかは，その式をｙ＝～の形に変形してから判断します。$y=a\chi+b$（あるいは $y=a\chi$，ａとｂは定数）となれば，その式は１次関数の式であるといえます。

［考える手順］	［答　　案］
	① $y+\chi=2$
1 ｙ＝～の形に変形	
	② $\chi^2+y=4$
1 ｙ＝～の形に変形	
	③ $\chi y=2$
1 ｙ＝～の形に変形	
	④ $y=\dfrac{1}{\chi}+3$
	⑤ $\dfrac{y}{\chi}=-1$
1 ｙ＝～の形に変形	

（次のページへつづく）↗

｜メニューへ戻る｜

□ □ 【１次関数　No.５（３／３）】 ー〈２枚目／２枚〉

（前のページからのつづき）

⑥ $\dfrac{\chi}{3} = y - 5$

1 ｙ＝～の形に変形

⑦ $2\chi - 3y = 0$

1 ｙ＝～の形に変形

⑧ $\dfrac{\chi}{3} - \dfrac{y}{4} = 2$

1 ｙ＝～の形に変形

答　１次関数は＿＿＿＿＿＿＿＿